

# 西尾市農業委員会（荒井地区で担い手への農地の集積・集約化を推進）

【農業委員会の体制】（令和5年7月20日任期開始 新制度移行後3期目）

農業委員18名、農地利用最適化推進委員23名、事務局職員5名

## 1 地区の特徴・状況、課題

西尾市は愛知県の中央南部に位置し、耕作面積は4,080ha。  
荒井地区は市内北東部に位置し、主に水田作が行われている。円滑化事業等で担い手への集積が進められているが、集約化までは進んでいない現状がある。

## 2 課題解決に向けた活動（取組と工夫）

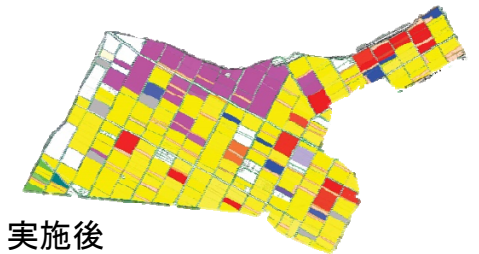
荒井地区において、県営経営体育成基盤整備事業が施工中であることから、中間管理事業を活用して担い手へのまとまった集積・集約化を図るべく、工区役員会における制度の説明から地区の担い手への説明まで制度の周知と活用を働きかけた。

## 3 活動の成果

荒井地区において、担い手の耕作地の入替えが合意され、農地の集積・集約化とともに農地中間管理事業が実施された。機構集積協力金については地域集積協力金は46ha、集約化奨励金は15haが対象となり、土地改良事業の事業費及び工区内に係る排水路の法張工事など利用上必要な設備の維持管理に活用することが合意された。



実施前



実施後